



医学統計研究会の現況

平成 21 年度 会報

Vol.5

1. 平成 21 年度の活動と事業は以下のとおりです。

I. 事業期間

平成 21 年 4 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 31 日

II. 事業の成果

(1) 新規事業

- ① 本研究会の設立 5 周年記念事業として、「大分統計談話会・第 40 回記念大会」との共催で特別セッションが設けられ、『医学統計学』の背景にある哲学および、現況、そして将来像などが講演・議論された。
- ② 「日本心血管インターベンション治療学会」からの要請を受け、論文誌への投稿論文の査読および技術指導の役を担うことになった。
- ③ 最近の情報技術を駆使した形式での医療および医薬品の研究・開発に寄与するために、特定主題セミナー「臨床評価過程におけるシミュレーションとその実際」を開催した。

(2) 継続事業

- ① 特定主題セミナー 2009「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」も 5 回目の開催を数え、本研究会の「目玉」の事業ともいえる形式で定着し、従来どおり時宜に合った形での話題が提供された。
- ② 特定主題シンポジウム 2009「臨床評価過程における Bayes 流接近法」も 2 回目の開催を数え、医学・医療におけるデータの蓄積とその有効利用に活かすために Bayes 流接近法の思想、背景などが Neyman-Pearson 流、Fisher 流、尤度流の諸法と対比して講述された。
- ③ 特定主題セミナー 2007「癌治療の評価における生存時間解析の方法」、特定主題シンポジウム 2008「癌治療の評価における統計的方法」の内容をより実践に促した形に変更し、特定主題シンポジウム 2009「患者像に基づく臨床評価の過程：癌患者の治療を中心に」として開催した。
- ④ 定例シンポジウム 2009「医療で必要とされる統計的基礎知識」は 9 回目を数え、医学・医療での最近の話題として、とくに、モデル志向型接近法がその適用場面と一緒に具体的に論じられた。
- ⑤ 医学統計学に関わる諸種の主題の研究・開発および地方における啓発活動の一環として、夏季セミナー（大分）と秋季セミナー（鹿児島）を開催した。

(3) 共同開発事業：e-learning 型医学統計学習システム（PSL：Productive Self-Learning System of Biostatistics）『医学統計学習塾』（相関・回帰解析の過程）を共同開発中である。

(4) 技術指導事業

- ① 「メタボリック・シンドローム」の診断基準の再評価と絡め、大分県成人病検診センターと共同で「健康指導」の根拠を評価し、論文の作成・検討を継続している。この成果の一部は日本行動計量学会第 37 回大会の特別セッションで報告された。
- ② 会員から要請された臨床試験に関わる二三の実際業務について相談・指導を行った。

(5) 連携事業

- ① 日本計算機統計学会スタディ・グループ「データの圧縮と復元の方法」と一緒にシンポジウムを開催し、共同で二三の方法論の研究・開発を継続した。
- ② 大分統計談話会の第39回大会と第40回大会の開催を支援した。

III. 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

- 特定主題セミナー2009「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」
 (日時) 2009年4月28日, 2009年5月12日, 2009年5月27日, 2009年6月17日.
 (会場) ちよだプラットフォーム会議室.
 (参加者) 20名(有料参加者15名, 支援参加者5名).
- 特定主題シンポジウム2009「患者像に基づく臨床評価の過程: 癌患者の治療を中心に」
 (日時) 2009年9月19日.
 (会場) 内海 101 会議室.
 (参加者) 28名(有料参加者17名, 支援参加者11名).
- 定例シンポジウム2009「医療で必要とされる統計的基礎知識」
 (日時) 2009年10月24日.
 (会場) ファイザー(株) 会議室.
 (参加者) 41名(有料参加者15名, 支援参加者26名).
- 特定主題シンポジウム2009「臨床評価における Bayes 流接近法」
 (日時) 2009年11月14日.
 (会場) エーザイ(株) 別館会議室.
 (参加者) 22名(有料参加者11名, 支援参加者11名).
- 特定主題シンポジウム2010「国際共同治験における地域差の可能性を考慮した投与量の決定」
 (日時) 2010年1月30日.
 (会場) アステラス製薬(株) 会議室(日本橋).
 (参加者) 48名(有料参加者32名, 支援参加者16名).
- 特定主題セミナー2010「臨床評価過程におけるシミュレーションとその実際」
 (日時) 2010年3月13日.
 (会場) 大阪大学 基礎工学部 J617 号室.
 (参加者) 22名(有料参加者12名, 支援参加者10名)
- 定例会[大阪]
 - ① O 2009-5-30
 (日時) 2009年5月30日. 13:15~17:15
 (会場) 大阪大学 基礎工学部 G509 号室.
 (参加者) 26名
 - ② O 2009-7-4
 (日時) 2009年7月4日. 13:30~17:00
 (会場) 大阪大学 基礎工学部 J617 号室.
 (参加者) 15名.
 - ③ O 2009-7-25
 サマー・フォーラム2009: 日本計算機統計学会・スタディ・グループと共催.
 - ④ O 2009- 8-8
 夏季セミナー2009(大分)と共催.
 - ⑤ O 2009-9-12
 秋季セミナー2009(鹿児島)と共催.
 - ⑥ O 2010-1-23
 (日時) 2010年1月23日. 13:30~17:00.
 (会場) 大阪大学 基礎工学部 J617 号室.
 (参加者) 11名.

- 定例研究会[東京]
 - ① T 2009-4-28.
 (日時) 2009年4月28日. 13:30~17:00
 (会場) ちよだプラットフォーム 会議室.
 (参加者) 8名
 - ② T 2009-5-27
 (日時) 2009年5月27日. 13:30~17:00
 (会場) ちよだプラットフォーム 会議室.
 (参加者) 8名.
 - ③ T 2009-6-17.
 (日時) 2009年6月17日. 13:30~17:00
 (会場) ちよだプラットフォーム 地下1階 ミーティングルーム 005号室.
 (参加者) 7名.
 - ④ T 2009-7-25
 サマー・フォーラム 2009 日本計算機統計学会・スタディ・グループと共催.
 - ⑤ T 2009- 8-8
 夏季セミナー (大分) と共催.
 - ⑥ T 2009-9-12
 秋季セミナー (鹿児島) と共催.
 - ⑦ T 2009-10-23
 (日時) 2009年10月23日. 13:30~17:00
 (会場) ファイザー(株) 会議室.
 (参加者) 8名.
 - ⑧ T 2009-11-13
 (日時) 2009年11月13日. 13:30~17:00
 (会場) エーザイ(株) 別館会議室.
 (参加者) 5名.
 - ⑨ T 2009-12-16
 (日時) 2009年12月16日. 14:00 ~ 17:30
 (会場) ファイザー(株) 会議室.
 (参加者) 8名
 - ⑩ T 2010-1-29
 (日時) 2010年1月29日. 13:30 ~ 17:30.
 (会場) アスピオファーマ(株) 会議室.
 (参加者) 7名
 - ⑪ T 2010-2-24
 (日時) 2010年2月24日. 13:30 ~ 17:30.
 (会場) ノバルティスファーマ(株) 会議室.
 (参加者) 9名
 - ⑫ T 2010-3-19
 (日時) 2010年3月19日. 13:30 ~ 17:30.
 (会場) 熱海聚楽ホテル.
 (参加者) 12名
- スプリング・フォーラム 2009
 (日時) 2009年4月4日.
 (会場) 大阪大学 基礎工学部 G509号室.
 (参加者) 35名.

- サマー・フォーラム 2009
日本計算機統計学会スタディ・グループ「データの圧縮と復元の方法」
(日時) 2009年7月25日.
(会場) 茨木市クリエイトセンター[会議室].
(参加者) 31名.
(付記) 定例会(大阪)O2009-7-25・定例研究会(東京)T2009-7-25 と共催.
- ウィンター・フォーラム 2009
(日時) 2009年12月12日.
(会場) 大阪大学 基礎工学部 G509号室.
(参加者) 49名.
- 夏季セミナー2009
(日時) 2009年8月8日(土). 10:00~17:00
(会場) 大分大学教育福祉科学部 403号教室
(付記) 定例会(大阪)O2009-8-8・定例研究会(東京)T2009-8-8 と共催.
(参加者) 12名.
- 秋季セミナー2009
(日時) 2009年9月12日(土). 9:30~17:00
(会場) 宝山ホール(鹿児島県文化センター) 第5会議室.
(付記) 定例会(大阪)O2009-9-12・定例研究会(東京)T2009-9-12 と共催.
(参加者) 16名.

IV. 総会の開催状況

1. 通常総会

- (日時) 2009年5月30日(土). 10:30~12:00
(会場) 豊中市待兼山町1番3号. 大阪大学基礎工学部 G509号室.
(会員総数) 60名(正会員のみ).
(出席者数) 43名(うち委任状出席者:28名).
(内容) 第1号議案:平成20年度事業報告.
審議の結果, 全員一致で可決承認.
第2号議案:平成20年度収支報告[財産目録・貸借対照表・収支計算書].
審議の結果, 全員一致で可決承認.
第3号議案:平成21年度事業計画.
審議の結果, 全員一致で可決承認.
第4号議案:平成21年度収支予算.
審議の結果, 全員一致で可決承認.

V. 理事会の開催状況

1. 第1回理事会

- (日時) 2009年4月4日(土). 11:00~12:15
(会場) 豊中市待兼山町1番3号. 大阪大学基礎工学部 G509号室.
(理事総数) 24名.
(出席者数) 24名[うち委任状出席者:16名]:(他に監事1名).
(内容) 第1号議案:平成20年度事業報告(案).
審議の結果, 全員一致で可決承認.
第2号議案:平成20年度収支報告(案).
審議の結果, 全員一致で可決承認.
第3号議案:理事について.
一平成21年度:名簿の確認.
一理事の役割分担.
審議の結果, 全員一致で可決承認.
第4号議案:会員動向[平成21年3月14日現在].

審議の結果、全員一致で可決承認。
 第5号議案：平成21年度事業計画（案）。
 ー会員の増強。
 審議の結果、全員一致で可決承認。

2. 第2回理事会

(日時) 2009年7月25日(土)。11:55～12:15
 (会場) 茨木市クリエイトセンター[会議室]。
 (理事総数) 24名。
 (出席者数) 18名 (うち委任状出席者：12名)。
 (内容) 第1号議案：事業の遂行[中間報告と通常総会の議事録]。
 第2号議案：事業の計画[平成21年度の後半に向けて]。
 第3号議案：会員増強の進捗。
 第4号議案：5周年記念事業について。
 第5号議案：共同開発事業（「医学統計学習塾」について）など。
 いずれの議案も審議の結果、全員一致で可決承認。

3. 第3回理事会

(日時) 2010年3月13日(土)。17:00～17:45。
 (会場) 豊中市待兼山町1番3号。大阪大学基礎工学部 J617号室。
 (理事総数) 24名。
 (出席者数) 22名[うち委任状出席者：15名] (他に監事1名)。
 (内容) 第1号議案：平成21年度事業報告(案)。
 第2号議案：平成21年度収支報告(案)。
 第3号議案：理事の変更について[平成22-23年度理事]。
 ー平成22年度：名簿の確認。
 ー理事の役割分担。
 第4号議案：会員動向 [平成22年3月13日現在]。
 第5号議案：平成22年度事業計画(案)
 いずれの議案も審議の結果、全員一致で可決承認。

2. 平成21年度の収支計算書の概要を下表に記しています。詳細は大阪府知事宛へ提出する資料（「閲覧」可）に記載しています。

・収入の部		合計	・支出の部		単位(円)
内訳：	入会金・会費収入	3190000	内訳：	事業費	3628424
	事業収入	1851160		管理費	2055244
	利息収入	2526			0
	技術指導料	48384		当年度支出合計	5683668
	雑収入	131500			
	当年度収入合計	5223570		・当年度収支差額	-460098
前年度繰越金額(設立時資金有高)		4725031		・次年度繰越収支差額	4264933

本年度の活動 および本資料の内容については正法地孝雄監事と前田 博監事の監査を受け、承認されました [また、田端一喜公認会計士と元垣内広毅公認会計士のご指導(監査)も受けました]。

(会場)ファイザー(株)会議室

11月

*11月11-12日 日本計算機統計学会第24回シンポジウム
(会場)箕面市メイプルホール
11月19日(金) 定例研究会[東京]T2010-11-1 (会場)エーザイ(株)会議室
11月20日(土) 定例シンポジウム2010
「医療で必要とされる統計的基礎知識」
(会場)エーザイ(株)会議室

12月

12月4日(土) 平成22年度第2回通常総会・ウィンター・フォーラム2010
(会場)大阪大学
12月15日(水) 定例研究会[東京]T2010-12-15 (会場)ファイザー(株) 会議室

2011年1月

1月22日(土) 定例会[大阪]02011-1-22 (会場)大阪大学
1月28日(金) 定例研究会[東京]T2011-1-29 (会場)あすか製薬(株) 会議室
1月29日(土) 特定主題シンポジウム2011
「国際共同治験における統計的諸問題」
(会場)アステラス製薬(株)

2月

*2月17-18日 大分統計談話会・第43回大会 (会場) 富士通大分システムラボラトリ
2月22日(火) 定例研究会[東京]T2011-2-22 (会場)ノバルティスファーマ(株) 会議室

3月

3月12日(土) 特定主題セミナー2011
「臨床検査値の変動と評価」
(会場)大阪大学基礎工学部 G509号
3月12日(土) 平成22年度第3回理事会 (会場)大阪大学基礎工学部 G509号
3月17日(木) 定例研究会[東京]T2011-3-17 (会場)未定

(※1)会員の方々には、ご住所・アドレスなどの変更の場合にはできるだけ速やかに事務局のほうにご連絡
いただくと幸いです。

(※2)会員の方で、平成21年度の会費未納の方は、できるだけ速やかにお納めいただくと幸いです。

(※3)「定款第5条(3)」の「医学統計学に関する著作の刊行」の一環として、以下の刊行を進めています。

- 単回帰解析の過程
- 最小二乗法と実験計画法 : 基礎編
- 統計的経験則

編集・発行 : 非営利活動法人 医学統計研究会
〒560-0085 大阪府豊中市上新田 2-22-10-A411
Tel&Fax:06-6835-8790, e-mail:info@bra.or.jp
URL:http://www.bra.or.jp/